

第 9 回

越 谷 市 教 育 委 員 会 会 議 録

平成30年 8 月 2 日

臨 時 会

平成30年第9回越谷市教育委員会会議録

招集年月日 平成30年8月2日（午前の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会8月2日 午前10時00分
 閉会8月2日 午前11時37分

出席委員

委員 長	住 田 俊	委員 長 職務代理者	堀 川 智 子
委 員	進 藤 秀 子	委 員	荒 木 明 子
委 員 (教育長)	吉 田 茂		
欠席委員	な し		

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部 副 部 長 兼 生涯学習課長	福 田 博	学校教育部長	瀧 田 優
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 学 務 課 長	岡 本 順
		学 校 教 育 部 副参事兼教育 センター所長	鈴 木 雅 彦
		指 導 課 長	山 口 徳 明
		指導課調整幹	青 木 元 秀
		教育センター 調 整 幹	原 田 肇 子

職務のため会議に出席した者の職氏名

教育総務課 副 課 長	並 木 智 史
----------------	---------

平成30年第9回越谷市教育委員会会議録

招集年月日 平成30年8月2日（午後の部）
 招集の場所 第3委員会室
 開閉会日時 開会8月2日 午後 1時00分
 閉会8月2日 午後 3時13分

出席委員

委 員 長	住 田 俊	委 員 長 職務代理者	堀 川 智 子
委 員	進 藤 秀 子	委 員	荒 木 明 子
委 員 (教育長)	吉 田 茂		

欠席委員 な し

説明のため会議に出席した者の職氏名

教育総務部長	永 福 徹	学校教育部長	瀧 田 優
教育総務課長	渡 辺 真 浩	学 校 教 育 部 副 参 事 兼 学 務 課 長	岡 本 順
		学 校 教 育 部 副 参 事 兼 教 育 セ ン タ ー 所 長	鈴 木 雅 彦
		指 導 課 長	山 口 徳 明
		指 導 課 調 整 幹	青 木 元 秀
		教 育 セ ン タ ー 調 整 幹	原 田 肇 子

職務のため会議に出席した者の職氏名

教 育 総 務 課 副 課 長	並 木 智 史
--------------------	---------

◎開会の宣告

住田委員長 これより8月の臨時教育委員会会議を開会いたします。

本臨時会に関し、1名の方から傍聴許可願が提出されておりますので、許可したいと思います。
また、会議中に許可願が提出された場合は、同様に許可いたします。

(午前10時00分)

◎第33号議案 平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について

住田委員長 それでは、7月定例教育委員会会議において議題とし、審議の途中となっております第33号議案「平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について」、引き続き審議を行うこといたします。

採択の方法ですが、7月定例教育委員会会議と同様に、種目ごとに審議及び採択を行います。全体の採決については、本日全ての種目の採択が終了した後に一括して行うこととします。傍聴人の皆様におかれましては、傍聴の心得の内容をお守りいただきますようお願いいたします。

それでは、これより教科用図書の審議を行います。

初めに、社会の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等を行うために選定委員の入室をお願いします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、社会の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、社会に係る教科についてご説明させていただきます。

東京書籍から、特に特徴的なところについて申し上げます。まず、1の（1）のところでは、公民的資質の基礎を養う配慮、工夫という点で、6年生で子育て支援の願いを実現する政治と震災復興の願いを実現する政治の2つの単元から、児童の実態に合わせて選択できるように工夫されています。

（2）の国土の理解という点で、東京書籍の特徴というわけではないのですが、領土問題について簡単に申し上げます。北方領土、竹島、尖閣諸島について、4社で多少文書量や写真などに差はありますが、基本的には4社とも日本固有の領土、また不法に占拠、占領などというように、政府の見解に沿った記述がしてあります。

（3）では、子どもたちが疑問や課題を解決しながら学習を進めるという形式の問題解決的な学習といいますが、それを充実させるための配慮や工夫という点で、全学年で「学習の進め方」を設け、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」という学習段階がはっきりわかるような紙面構成がされています。

続いて、2の（1）の小中の連続性ですが、6年下の巻末に「中学校に向けて」を設定し、中学への期待を持たせています。

3の資料では、イラストや写真、図表などの資料が豊富であり、かつ比較しやすい配置にするなど、読み取りやすい配慮をしています。2段落目の雨の量や気温を表した雨温図ですが、東京と沖縄、東京と北海道というように比較しているため、越谷の子どもたちにとっては、大変実感しやすい比較となっています。3段落目は、埼玉県に関連した言葉が記載されている項目です。それらの全部の合計ページ数が18ページとなっていて、4社の中で最も多くなっております。

5の総括、（1）としては、1時間1時間の問題意識を持って学習を進められるようにしたり、1つの単元を2つに分けるなどして焦点化したり、また家庭へのメッセージを入れたりというように、学力の向上と学習の充実のための配慮が豊富になります。

（2）の越谷の子どもたちはとの関連ですが、特に直下型地震や水害のおそれ、以前にありました竜巻というように、災害への関心が高まっており、防災に関するページ数を調べました。全学年を合計すると40ページになり、4社の中で最も多くのページを割いております。

続いて、教育出版について説明申し上げます。まず、1の（1）についてですが、先ほどの東京書籍と同様に、6年生の最初の単元が選択となっており、児童の実態に合わせて子育て支援を中心とした政治か、災害から守る政治のどちらかを選択できるようになっております。

（2）の領土のところでは、基本的な書き方を、先ほど申しあげましたように、一緒ですが、4社の中で最も詳しく写真や文書を掲載しております。

2の（2）の基礎・基本の確実な定着という点では、各単元の最後のまとめのところで基礎的な知識を穴埋めのような形式で整備したり、学習を通してわかったことや考えたことを単文にして表現する設問を設けたりして、基礎的事項の児童への定着を図っています。

3の資料では、資料の配置に統一感があり、整然としていてわかりやすくなっております。また、多様な資料を効果的に配列しております。

4の表記・表現では、（2）として、図表などで識別しにくい色の組み合わせを割け、図や表などが見やすく配置されています。このようなカラーユニバーサルデザインは、4社とも取り入れています。教育出版の教科書にはNPO法人の検定のマークがついております。

5の総括としては、各時間ごとにクエスチョンマークで「問い」を示し、問題を確かめながら一貫した追求を進めることができるように配慮され、また「まとめる」なども多様な言語活動が展開できるように工夫されていて、知識のみならず、思考や表現力などの学力の向上にも十分配慮しております。また、越谷市の児童にとって身近な能と関連する内容を詳しく扱っています。

続きまして、光村図書について申し上げます。まず、1の（3）についてですが、全学年で問題解決的な学習ができるように、巻頭4ページを使い教科書の使い方を説明しています。各小単元はホップ・ステップ・ジャンプで構成されており、児童が主体的に活動できるように配慮され

ています。

2の(2)、基礎・基本の定着については、「たいせつ」のコーナーを設けて、さまざまな学習方法のヒントを提示しています。さらに、前学年までに学習した「たいせつ」の一覧が巻末に掲載され、学年間のつながりも考慮して学習できるように配慮されています。

3の資料では、イラストを効果的に使って問題解決的な学習を促すとともに、現地の人の話を手紙、インタビュー、電子メールなどの方法を使って掲載し、現地の人の苦労や工夫を深めながら同時に調べる手段も示唆しています。

5の総括では、5、6年の教科書を各学年1冊にし、年間を通した取り組みができるように配慮されています。また、小単元のまとめ「ジャンプ」を設定し、「パンフレットを作る」、「スピーチをする」などの多様な言語活動が展開できるように工夫されていて、思考力や表現力などの学力の向上に配慮しています。

最後に、日本文教出版について申し上げます。1の(2)、日本各地のすぐれた伝統や文化を各学年で取り上げています。祭りや行事、また地域に尽くした人々として、3、4年下ですが、「稲むらの火」、これは津波が来るのを知らせるために稲むらを燃やしたというお話です。などの資料を提示することにより、道徳との関連を図りながら、歴史や国土を愛する心を育てようとする工夫がされています。

(3)では、全学年の巻頭に「問いの旅」を設定し、問題解決的な学習を促す工夫を図を用いてわかりやすく示してあります。

2の(2)、基礎・基本の定着では、キーワードを随所に設置し、社会科学習において不可欠な社会用語の説明を記述しています。さらに、文章だけでなくイラスト、写真もあわせて掲載することで視覚的にも理解が深まるように工夫されています。

3の資料では、写真、地図、イラストを効果的に組み合わせ、わかりやすく構成されています。特にイラストはとてもリアルに描かれていて、細かな様子までよくわかるようになっています。

5の総括の(1)では、人物キャラクターの吹き出しを活用し、学習課題、学習内容の定着や思考の助けとなるポイントなどを親しみやすく提示できるように配慮され、学習の充実が図られています。

社会についての説明は以上でございます。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、選定委員としてどの会社の教科書を推薦するのかをお願いいたします。

大友選定委員会副委員長 失礼いたします。

選定委員会では協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行い、協議終了後、選定委員15名全

員が4種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。
75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、75点、17番、教育出版、47点、38番、光村図書、39点、
116番、日本文教出版、54点でした。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点
の東京書籍、54点の日本文教出版、47点の教育出版を推薦いたします。

住田委員長 堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、東京書籍を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各
学校からの実績などの話題でどのようなことが上がりましたでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、回答させていただきます。

各学校からの報告書によりますと、市内30校全ての小学校が、現在使用している東京書籍が適
正であると考えております。理由といたしましては、「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、先ほど
申し上げましたけれども、という学習課程がどの単元でも取り入れられており、単元を通して学
習ができることや、社会の学習で重要な情報が豊富で、掲載されている写真もわかりやすいとい
う話題がありました。適正と答えた理由を分類しますと、学習課程のことと写真や表、グラフ等
の資料についての意見が多かったです。これらをトータルに考えても、やはり使いやすい、使用
しやすいとのことでした。

以上でございます。

住田委員長 使いやすい、指導しやすいということでしたけれども、他の委員の方。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。

野口選定委員長（花田小校長） 答えさせていただきます。

学校からの報告書や選定委員会の協議の中では、特に使いづらいなどという意見はございませ
んでした。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 選定委員会ではこの他にどのようなことが話題として出ましたでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） 写真や表等の構成が子どもを引きつける部分が東書にはあるとい
う話になりました。具体的には、写真の構成に統一性を持たせており、流れに沿って指導がしや
すいとの意見がございました。

住田委員長 他にございませんでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わらせていただきます。

それでは、協議に移らせていただきますが、今回の協議の中心は、東京書籍を4年間使用して

いてどうであったかなどですが、学校の報告書を見ますと、30校全ての小学校が適正であったと答えております。したがって、選定委員からのご報告でもあったように、特に課題等はないのかなと、こういうふうに思うのですけれども、皆様のご意見をお聞かせいただければと、こう思っています。

進藤委員。

進藤委員 適正と答えた理由の中で、多くの学校が学習課程について入れておりますけれども、やはり社会科の学習に重視される視点である問題解決的な学習の流れというものが大事になってくると考えます。どの会社も冒頭部分で学習課程を示しておりますけれども、区切り方が若干異なる程度で、基本的な学習の流れに大きな差異はないのかなという印象でした。しかしながら、現場で教えている先生方にとっては、ずっと使っていっている教科書が使いやすいのかなと思います。また、子どもたちにとっても、この東書の学習課程、そのうち「つかむ」、「調べる」、「まとめる」、この形で4年間学習してきていますので、ここで突然学習課程の区切り方が変わるとなると多少混乱するのではないかと危惧されます。

また、先ほど来使い勝手のよさであるとか、わかりやすさを上げている学校も複数あるということもございますし、実際に学校からの意見書を見ますと、デジタル教科書の評価も非常に高かったことが印象に残りました。あとは、防災教育などについても、新しいこういった教育課題に関する教材が最も充実しているのが東書ではないかと考えました。

以上です。

住田委員長 他に。

私もやはり東京書籍は、資料が非常に豊富だなというふうに感じました。そして、その資料の配置なのですけれども、非常に工夫されているように思われました。ですから、子どもたちも取り扱いやすいのではないかなというふうに感じております。そして、特に私は気に入ったページとして、6年生の社会科のところを少し見ていただきたいのですけれども、上の歴史の88ページを見て非常によかったなと。資料をただ載せてくるだけではなくて、その解説が非常にわかりいいなというふうに思いました。89ページのところの、一体町民は何をやっているのかというのを一つ一つわかるような感じで、ただ町の様子が出ているというだけではなくて、非常に子どもたちは理解しやすかったのではないかなと。

他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 進藤委員さん、委員長さんからもあって、繰り返しになってしまいますけれども、学習課程については、どの教科書も工夫して示してあるのですが、微妙な違いがございます。例えば教出ですと、社会科の下58ページになります。クエスチョンマークで、世界の国々の人々の暮らしについて調べたことを発表しようというようなところがあって、学習課題の定義であり、

その下に学習の手引ということで、調べたことを伝え合うとか、作品にまとめて発表するとか、発表が終わったら友達の意見を聞いて、さらに調べたりするという、こういう流れで進められているのですけれども、一方光村では、同じく社会科の6年生の2ページとか1ページぐらいに出ていました。ホップ・ステップ・ジャンプ、さらに次のページのところに行くとノートの手書きが出ています。教科書をヒントに学習を進めようということが出てまいります。

それから、日文のほうでも、教科書の中にいろんなコーナー、「見る」、「調べる」、「表現する」、「キーワード」、「考える」、「やってみよう」というようなことで、これも6年生の上巻ですと18ページ、クエスチョンマークで課題提起があって、少しめくっていくと、授業の終わりのほうに「振り返ってみよう」というのがございます。

一方、東京書籍ですと、これも新しい社会の6年生の下巻18ページになります。ほかの教科書でもいろいろ出てくると思うのですが、単元の最初に若葉ワークで「つかむ」というのがあって、これをめくっていくと、次に「調べる」というのがあって、ずっと見ていくと「まとめる」というのがあって、さらに「深める」、「いかす」というのがあるのです。これは、どの単元でも同じような流れで出ています。一番わかりやすいのは、東書の3、4年の上巻なのですけれども、これを見るとやはり「つかむ」というのが出てきます。「つかむ」ということで、これは4ページを開いてみるとわかるのですが、家から出て学校まで何があるのだろうかというところで問題提起から始まって、「つかむ」では調べることをはっきりさせて、次の「調べる」ではフィールドワークです。白地図にあったことを入れ込み、絵や文字で書き込みながら作業をしていくということが「調べる」の中へあって、16から17ページでは、今度は実際の地形図と、あるいは航空写真と見比べて気づいたところがあったことをまとめていきます。次に、次の単元に行くと、これは仙台市を扱っているのですけれども、より広げてその市を理解しようということで、地形図やあるいは土地利用図、さらには航空写真を使って仙台駅の周辺であるとか、それから港の案内、港のあたりであるとかあるいは住宅地、さらには河口付近、さらには温泉地もございます。仙台市の温泉地について調べる学習へと広げてあるのですけれども、この間に「いかす」というのがあるのです。これ私は大事なのだろうなというふうに思っているのですが、つまりは、自分たちで地図をつくることによって、実際にの地図のよさ、これはよさを知る、自分たちでその絵を描いたりなんたりすると絵がばらばらになったり、あるいは字が多過ぎて情報が入らなかったりというような経験を、実際の地形図と見比べながら、ああ地図はこんなにいいのだというのに気がついていくのです。それを生かしていくというコーナーを設けているところが多くなるので、そこを十分に扱うと、次に地図を見ながら、いわゆる読図をしながら、あるいは実際にそれと航空写真と見比べながら、そのことを活用して読図により自分たちの町の様子を知っていくというところに移っていくのです。それが生かすというふうにつながっていくわけで、この辺をきちんとやっていると、高学年になって、あるいは中学校に行っても、地図を見てもいろんな情報をそこから

知ることができるようになる。そういう学習にとっては有効であるかなというふうに思っております。この学習の進め方については、24ページと25ページにまとめて書いてあります。「つかむ」、そして「調べる」、そして「まとめる」、さらにはそれを「いかす」という形で、2ページにわたってわかりやすく書いてあるのですけれども、以下同じように、どの単元に入ってもそういう学習課程を繰り返すようになっております。したがって、学習課程を繰り返すことによって既習事項を活用して思考を深めるなどして課題を解決していく能力が身につくように、この教科書では配慮されているということになろうかと思います。

使用実績にかかわっての報告では、このことに言及することが大変多かった。実際に教科書を使って説明させていただきましたが、大方の意見で問題ないというようなことだったと思いますけれども、私としてもそういうふうに感じました。

住田委員長 その他いかがでしょうか。

東京書籍以外の教科書についてのほうを皆さんのご意見を求めたいかと思います。いかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 どの教科書も教科書の冒頭部分に学習の進め方や教科書の使い方があり、区切り方はそれぞれ会社によって違いますが、学習の進め方に関して明確な表示がされていて、わかりやすくなる工夫がされていると思います。

住田委員長 他にはいかがですか。

はい。

堀川委員長職務代理者 今、荒木委員さんから冒頭部分についてのご意見がございましたけれども、学習の最後の段階を比較してみますと、今教育長のお話にもありましたが、「いかす」として学んだことを活用する学習を重視している傾向が見られました。教出と光村は学習の最後の段階を「まとめる」、「深める」、「広げる」などとしており、学習内容の確認と発展を重視しているなというふうに感じました。日文は、学習の最後の段階を「新しい疑問」としており、オープンエンド、拡散型の単元構成を重視する傾向が見られるのかなというふうに感じました。

以上です。

住田委員長 他には何か気がついたことございますでしょうか。

他に協議したい内容はございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、これより社会の教科用図書に係る採択に入りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと

思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 それでは、投票箱を改めていただきます。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票に移ります。

点呼をお願いします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。

投票漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として堀川委員、それから荒木委員を指名いたします。よろしくお願いします。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番	東京書籍	2 5 点
1 7 番	教育出版	1 9 点
3 8 番	光村図書	1 5 点
1 1 6 番	日本文教出版	1 9 点

ということでございます。それで、2 番の東京書籍を採択いたしたいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

住田委員長 続いて、地図の教科用図書のほうに移らせていただきます。

それでは、選定資料のご説明のために選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、地図の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、地図についてご説明させていただきます。

まず、東京書籍より説明いたします。まず、1 の（1）についてですが、大きさですが、A 4 サイズという大きな紙面のため、その大きさを生かし、地図も写真などの資料なども大変大きく見やすくわかりやすい紙面になっております。

続いて2、内容の（2）ですが、基礎・基本の定着という点ですが、地図帳の使い方のページでは400万分の1の広い地図、100万分の1の関東地方の地図、50万分の1の沖縄県の地図というように、3種類の地図を広いほうから順に提示することで、地図の見方や基礎・基本を理解しやすくしています。また、文字情報の全くない地形図を掲載し、児童の地図の見方の基礎や想像力、思考力、興味関心などを高めていけるような工夫をしています。

3の資料では、地図のページの後に資料のページが19ページあり、そこに厳選した資料を掲載してあるため、一つ一つの資料が大きく見やすくなっています。例えば折り込みの自然災害の資料では、マグニチュード5以上の被害の大きかった地震や噴火、豪雨などが掲載されているため、児童の防災意識を高めることにもつながるのではないかとこのように考えます。

4の表記・表現では、地図の各地方のところに人物のキャラクターによる問いかけを通し、各地の特色などを学ばせたり、興味関心を持たせたりする工夫をしています。また、地図上の文字情報や資料を厳選し、集中して地図を見られるように配慮してあります。さらに、ユニバーサルデザイン書体を採用したり、光の反射を抑えた用紙を使ったりして児童が見やすいように配慮しています。

5の総括としては、見やすくわかりやすく興味が持てる編集がされていたり、児童の思考の流れに沿った資料の提示がされていたり、理解や興味関心を高めるキャラクターによる問いかけが多く設定されていたりするなど、さまざまな場面で学力向上への配慮が見受けられます。

また、（2）の越谷の子どもたちとの関連では、越谷の近郊都市でもある東京都の地名や説明が最新のものとなっているとともに、イラストが大きく見やすく工夫されていて、児童が興味関心を持ちやすい例示になっています。

続きまして、帝国書院について説明いたします。まず、1の（1）につきましては、地図のページにも地形や土地利用、風土、生活、産業、伝統文化などの資料が多く表示され、人々の営みがわかりやすい紙面になっております。

次に、2、内容の（2）の基礎・基本の定着では、地図指導のページの中に、特に地図の成り立ちと約束事のページを設け、地図の導入時の指導に配慮した構成により、地図記号などの意味を理解しやすくしております。鳥瞰図などを多く取り入れながら地図を立体的に見ることで地図から実際の空間をイメージしやすいようにしています。

3の資料については、貿易のページで、ハンバーガーとジュースという具体的な例をもとに、日本の貿易についてよりわかりやすくつかませるように工夫してあります。

4の表記・表現では、日本より世界の地図のページに日本や地球の地図があり、その地図が日本全体や地球全体の中でどのあたりにあるかというのが表されていて、その辺が大変わかりやすくなっております。

5の総括では、地図のページにも資料を表示し、土地の利用や土地利用の理解を助けたり、巻

頭で都道府県名や所在地を覚えやすく工夫したり、地図の成り立ちや約束事によって地図の基礎・基本をわかりやすく指導できるようにしたりするなどの学力向上への配慮が見られます。

また、(2)の越谷とのかかわりでは、埼玉スタジアム、しらこぼと、くわいなど、越谷市になじみの深い施設や産物などを地図上に掲載しています。

地図についての説明は以上でございます。

住田委員長 ただいまの報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、お聞きしますが、選定委員として、2社あるのですけれども、どの地図を推薦したかということをお願いいたします。

大友選定委員会副委員長 失礼いたします。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いまして、協議終了後、選定委員15名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、60点、46番、帝国書院、73点でした。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、73点の帝国書院、60点の東京書籍を推薦いたします。

住田委員長 皆さんからご質問ございますか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、帝国書院の地図を採択してから4年間使用しておりますが、選定委員会で各学校の実績などの話題でどのようなことが上がっていますでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えさせていただきます。

各学校からの報告書によりますと、市内29校の小学校が、現在使用している帝国書院が適正であると答えております。多い理由といたしましては、指導しやすく情報量が多いが、見やすいや特産物や外国の国旗等もあり、児童の興味関心につながるなどがありました。選定委員会の話題としては、やはり大きさについて意見がありました。現在使用している帝国書院の地図は、東書に比べると小さいのですけれども、見づらいや使いづらいという意見はありませんでした。資料としての中身に関しましても、学校報告書でも必要な情報が盛り込まれており、教科の目標達成に結びつく内容になっているという意見もあり、選定委員会でも、大きさは小さいが特段不便なことはないという意見がありました。

以上でございます。

住田委員長 その他にいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 現場の先生方が現在使用していて使いづらいなどの意見はありましたか。特に適正でな

いという学校もありましたけれども、これらについては、選定委員会でどのような話題となりましたでしょうか。

住田委員長 はい。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えさせていただきます。

学校からの報告書や選定委員会の協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はありませんでした。適正でないと答えた学校の理由としては、次期学習指導要領を見据えて、3年生にとっては細か過ぎるのではないかということでしたが、今回の採択は4年生からの使用になりますので、それほど問題はないというふうになりました。

また、ある委員からは、地図で何かを調べるときにいろいろなマークがあるとそちらに目が向いてしまい集中できなくなるという観点では、帝国書院のほうがよいのではないかという意見もありました。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員の保護者からはどのような意見が出ましたでしょうか。

住田委員長 はい。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えさせていただきます。

今の子どもたちは、インターネットでマップを調べてしまうので、このように地図帳で学習するのは、逆に大切であるということや、子どものころから使用しているので、やはりなじみがあるということでした。

以上でございます。

住田委員長 その他ございますでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、質疑のほうを終わらせていただきます。

それでは、協議のほうに入るわけですが、4年間の実績の報告について、今回の協議の中心は、帝国書院を4年間使用してどうであったかですが、学校の報告書を見ると29校の小学校が適正であったと答えています。1校が適正でないと答えております。先ほどの選定委員からのご報告でもあったように、特に課題はないというふうに思うのですけれども、ご意見いかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先ほどの選定委員の先生方のところでも話題になりましたし、たしか前回の採択時のときでも教科書の大きさの関係で話題になったことで、帝国書院は少し小さい、東京書籍とページ数もそれほど変わらないことから、必要な情報量を入れることで見づらくなるのではないかとい

う危惧もありましたけれども、実際に使用している先生方の意見として、実際には地図が大きくて見やすいとありましたので、特段の問題は生じなかったのかなと思います。

また、地図帳の中心的な役割である地図や写真の構成や見やすさについても、色彩面での評価が非常に高く、調べる目的に合わせて資料が構成されているなどの意見もあって、子どもたちにとっても使いやすかったのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 地図は、社会だけでなく総合的な学習の時間等でも利用することがありますので、その際の調べる道具としても有効であると、報告書を読んで改めて感じました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 両方の地図を見比べると、例えば宇宙から見たというのがあるのですけれども、これがあるかないとではどこがどう違うのだという話もありますが、地図はどうしても平面ですので、やはり本当の形はこうなのだよというのは、写真ですから平面ですけれども、球体に見える、こういう視線というのは大事なわけです。だから、東書のほうでは、例えば地図をめくっていくと鳥瞰図がある。例えば平面ばかりになれていると、大西洋を挟んでヨーロッパとアメリカ、太平洋を挟んでアメリカと日本、どっちが近いのかぱっと浮かびますか。やはり地球儀で見ればすぐわかるようになります。意外と地図で見ているとわからない。こういう宇宙から見たらどうなのだろうという、絶えずこういう視線を送っているということは、大事なのかなというふうに思いました。

それから、同じ例えば九州の地図、20ページになりますか、これ見比べてもらおうとよくわかると思うのですが、どちらの地図の情報量が多いかということになりますと、東書のほうの地図は、幅が広いですから、長崎県のところに対馬が入っている。一方、帝国のほうは対馬が切れてしまっているのです。それから、長崎の西のほうに中通島というのがあるのですけれども、これも切れてしまっていないのです。しかし、地図の中にある情報量とか、どちらが多いということになりますでしょうか。

ぱっと見てわかるのは、果樹園の色分けが東書のほうにはないのです。帝国のほうにはあるのです。拡大した21ページに東書のほうには出てくるのです。帝国のほうには両方とも入っているのです。こういうふうに地図で見得られる情報量は、帝国のほうが多いのですが、東書のほうは、果物の絵とか野菜の絵とか大きく書いてあるのです。色も濃くなっているのです。実績報告から言うと、見やすいと書いてあるのです。だから、これは使う側の問題で、あるいは見る側の問題だから、それは報告書の例を見ればいいかなとは思っているのですけれども、そういう点で報

告書では帝国書院の地図でいいのかなと考えております。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、今度は2番目の協議になるのですが、帝国書院以外、要するに東京書籍のご意見等もお聞かせいただければなと思うのですが、いかがでしょうか。

私のほうで少し見させていただきましたけれども、とにかく東京書籍のほう判がかなり大きいです。これだけ大きさが違いがあるわけですが、文字が大きかったり情報が多かったりというようなことで、すっきりした印象はあります。小学校の段階で、特に4年生では、見やすく、そして使いやすいのかなというふうに東京書籍は思います。その東京書籍の巻頭の資料の「ながめてみよう日本のすがた」、これがまさに今教育長も言われました、文字情報がないような、地球の上から離れたところから見た感じというような、そういう違いはあります。とにかく東京書籍も非常にインパクトのある地図なのではないかなと。ですから、とにかく学習活動全体にどちらのを使うかというのは、先生の教える教え方といいますか、そういうところを考えていただければと思います。

それから、東京書籍の巻末の資料ですが、「日本の自然災害」、地図と写真を組み合わせてありまして、自然災害の厳しい状況をリアルに伝えているというのが最後のほうに出ています。どちらもそれほど大きな差があるとは思えないのですが、それぞれ特徴はあります。

他には何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、協議のほうはこれで終了させていただきます。

それでは、地図の教科用図書に係る採択に入りますので、ご用意をお願いいたします。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 続いて、投票箱を改めさせていただきます。

〔投票箱点検〕

住田委員長 では、投票をお願いいたします。

点呼をお願いします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。

投票漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として進藤委員、それから荒木委員にお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番 東京書籍 20 点

46 番 帝国書院 24 点

以上のとおり46番の帝国書院を採択いたしました。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

住田委員長 それでは、算数の教科用図書について審議をいたします。

選定資料のご説明のために選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 算数の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

鈴木選定委員（大袋東小校長） それでは、算数の教科用図書について説明させていただきます。

まず、6社に共通していることです。資料や表記・表現については、各社とも絵や写真に身近なものを取り上げており、図や表は色分けされ、書き込み方式になっております。切り取り教材には切り取りやすいようミシン目が入れています。また、各社とも全ての児童にとって読みやすいという視点でつくられており、分節改行、色調や配色への配慮、そういったものがなされております。問題や課題、重要事項、新しい用語や記号などは、それぞれマークで区別されたり、色分けや太字や囲みで強調されるなど工夫されています。

それでは、それぞれの出版社別にご説明いたします。初めに東書です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてございますが、算数的活動を重視し、児童がつまずきやすい数量関係の領域においては、特に学年間の指導内容の円滑な接続となるよう構成されています。単元全体、そして毎日の授業ごとに見通し、振り返りの学習活動が展開できる構成となっております。

次に、内容についてでございますが、プロローグが充実していて、単元前の復習コーナー「おぼえているかな」では、レディネスを確認する意味でも効果的です。単元の終わりには「力をつけるもんだい」、「やってみよう」、「しあげ」、そういった問題があり、巻末の補充問題は基礎・基本レベルとチャレンジレベルの2段階の問題が用意されており、個々の習熟度に応じて基本的な技能が確実に習得できるよう工夫されています。小中連携の視点から、6年生の巻末には中学校体験入学コースが設けられ、中学校数学の内容の一部が取り上げられています。

最後に、総括でございますが、各領域においてそれぞれの学年の内容及び算数的活動などを系統的、効果的に指導できるよう構成されています。算数的活動と申し上げましたが、これらが数学的活動となります。児童が苦手とする図形や比例、テープ図や数直線の扱いに工夫が見られます。考えるときの手がかりや考えを説明する場面が適切に配置されており、思考力、表現力の育成とともに、互いに学び合う授業展開と学習態度の育成、こういったものを意図した構成となっております。

次に、大日本です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、単元導入時のアプローチや問題提示の仕方に工夫が見られます。既習事項をもとに解決を促す投げかけが示されていたり、具体物を用いた作業的、体験的な活動を全学年に設けたりと、既習事項を用いながら効率よく学習が展開されるよう工夫されています。

次に、内容についてでございますが、5、6年の巻末に前年度までの既習事項を振り返るための「チェックアンドトライ」や全ての学年において当該学年で学習する内容の復習問題や発展的な要素も含まれた補充問題が用意されており、子どもの実態に応じた学習ができるようになっております。小中連携の視点から、6年生の巻末の「数学の世界へ」では、簡単な中学校での問題を解く経験ができるようにしています。

総括でございますが、説明や話し合いなどの言語活動をわかりやすく示し、学習を進められるよう構成されています。単元などの課題提起が右ページ起こしとなっていたり、考え方の手がかりが示されていたりと、それらをもとに話し合い、学び合いが進められるよう構成されております。

次に、学図です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、内容を精選し、その分習熟のための問題に取り組む時間を確保できるよう構成されております。基礎・基本の定着を確実に図るための授業展開がしやすい工夫がなされています。数学的な考え方を身につけられるよう類推、帰納、演繹などの考え方を具体的に示しています。また、発達段階に応じた系統性を踏まえた図の指導がなされています。

次に、内容についてでございますが、各単元の冒頭に既習の学習内容を振り返り確認できるよう工夫されています。単元の終わりに「練習」や「力だめし」、区切りのよいところに「ふくしゅう」の問題、つまずきやすい問題には「サポート」として、スモールステップで対応できるようにしています。基礎・基本の習熟のための補充問題、思考力、表現力、活用力の育成を意識した「チャレンジ」など、多彩な問題が掲載されています。小中連携の視点から、6年生には別冊、「中学校へのかけ橋」がございます。

総括でございますが、内容は精選されて見やすく、習熟や補充など子どもたち一人一人の学力向上に向けて弾力的に指導できるよう配慮されています。導入と算数的活動、これも今後は数学的活動になりますが、に配慮した構成となっております。

次に、教出です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、これも算数的活動、数学的活動、こちらを中心とした問題解決的な学習が展開しやすい構成となっております。さまざまなところに児童の言葉を誘い出す投げかけが示されています。また、既習事項の確認のページを設け、系統性を意識しながら学習に取り組めるよう工夫されています。また、算数を学びながら他教科等へのつながりも意識して指導できるよう問題場面が設定されています。

次に、内容についてでございますが、巻末に学習の手引があり、作図の仕方や道具の使い方、そういったものが示されております。また、子どもの言葉で示された「算数で使いたい考え方」、それが掲載されており、活用していけるように示されています。高学年の巻末には、「学びのマップ」があり、当該学年の学習内容等、今までの学習内容との系統性がわかりやすく示されています。小中連携の視点から、6年生の巻末に「数学へのとびら」があり、中学校の学習の素地となる学習に取り組めるようになっております。

総括でございますが、子どもの言葉で表された課題とまとめ、そういった吹き出しが示されており、数学的活動を軸とした問題解決の授業展開を行いやすいようになっています。学年を超えて既習事項を振り返ることができるよう構成されており、学びの系統性を意識しながら取り組むことや、つまずきがちな児童への対応ができるよう配慮されております。

次に、啓林館です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、適宜めあてが示され、問題解決的な学習が展開できるようにしています。類比、帰納、演繹などの考え方を随時活用して生かせるよう、話し合い活動を通した主体的な問題解決の場を設定しています。

内容についてでございますが、巻頭に学習の進め方、巻末に資料として学習内容の要点や算数で使う考え方が示されており、学習に活用できるようになっております。小中一貫の視点では、6年生巻末の算数卒業研究、そちらの後に中学校の数学を紹介しております。

総括でございますが、全領域において説明する活動を大切にしています。話し合い活動や問題解決や言語活動の場面で有効となる添付図、線分図、数直線など系統的に段階を踏んで指導しています。学んだことを実験で確認したり、他教科との関連を用いた題材を使用したりと、吹き出しをはじめ自分の考えを説明する活動を多く取り入れており、表現する力、書く力の育成を図れるようにしています。

最後に、日文です。学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてでございますが、横長のA B判、こちらの側注を利用しまして学習の流れが示されています。また、見通しや話し合いの着眼点を示されており、数学的活動を促し、問題解決的な学習がより進むように工夫されております。

内容についてでございますが、2年生以上に切り取り式のガイド、算数で使いたい言葉、考え方がつけられており、教科書での学習と関連させて活用することで問題解決的な学習が充実できるようにしています。学習した直後の「練習」、作業的、体験的な活動を行う「いち・に・算活」、

そして「たしかめポイント」の問題というように、基礎的、基本的内容が確実に身につけられるよう工夫されております。巻末の「算数マイトライ」では、当該年度の学習内容の終了後、児童の実態に応じて取り組めるよう補充的、発展的な問題をバランスよく配置しております。小中一貫の視点から、6年生の巻末、もうすぐ中学生で中学校数学の素地となるような内容を紹介しています。

総括でございますが、横長のＡＢ判を利用しておりますので、紙面が広く、書き込みスペースもあります。学習の手順や着眼点とともに、問題解決的な学習過程がわかりやすく示されている構成となっております。

以上で教科用図書についての説明を終わりにします。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員の回答をお願いいたします。

それでは、選定委員としてどの教科書を推薦されるかをお教えてください。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えさせていただきます。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見なども参考にしながら協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が6種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、75点、4番、大日本図書、36点、11番、学校図書、47点、17番、教育出版、46点、61番、啓林館、46点、116番、日本文教出版、35点でございました。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の東京書籍、47点の学校図書、46点の教育出版と啓林館を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 それでは、他の委員の方からございませんか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 東京書籍を採択してから4年間使用しておりますけれども、選定委員会各学校からの実績などでどのような話題が上がりましたでしょうか。

鈴木選定委員（大袋東小校長） 各学校からの報告書によりますと、市内30校全ての小学校が現在使用している東京書籍が適正であると答えております。理由といたしましては、やはり学習課程のことについての記載が多く、学習課程がしっかりと明記されており、大切なことがわかりやすく指導しやすい、また児童の思考の流れに沿ってつくられているので授業がやりやすい、そうした意見がありました。それを受けまして、選定委員会では学習課程のことを中心に話し合いました。

委員の中から出た意見としましては、3つのことがありました。1つ目は、東書の学習課程の

流れの型が越谷市の授業における7つのポイントとも合っており指導しやすい、2つ目は、自力解決の際に、考え方が吹き出しで表されており、苦手な児童にとってヒントになるので、子どもにとっても使いやすい。3つ目としまして、他の教科書会社を使用した際に、学習課程が若干変わりマークなども新しくなるため、使いこなすために教師側が相当読み込まなければならないなどです。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 今回適正ではないと答えた学校はなかったようですが、現場の先生方が現在使用している使いづらいなどの意見はありましたか。

鈴木選定委員（大袋東小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづらいなどの意見はありませんでした。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員で保護者の方が入っておりましたが、どのような意見が出ましたでしょうか。

住田委員長 どうぞ。

鈴木選定委員（大袋東小校長） 保護者の立場からということで2つご意見がありました。1つ目ですが、違う教科書になった場合、先生方がマークなど相当読み込まないと教えるのが難しいのではないかと、先生方の負担が増えるのではないかとということです。2つ目としましては、子どもの宿題などを見ると、今はいろいろな考え方で問題を解くのだなと感じていた。いろいろな考え方が出せる教科書がいいのではないかとということです。

以上でございます。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、質疑のほうを終わらせていただきまして、協議のほうに移らせていただきます。

まず、4年間の使用実績についてなのですが、今回の協議の中心というのは、東京書籍を4年間使用していてどうであったかなどなのですが、学校の報告書を見ますと、30校全ての小学校が適正であったと答えております。したがって、選定委員会からのご報告でもあったように、特に課題等はないのかなと思いますけれども、皆様のご意見をお願いいたします。

学校の報告書のまとめの中に、一番多かった意見として、児童の思考の流れに沿ってつくられている。それで授業がしやすいということが書いてありました。やはり小学生ですので、子どもが問題をよりよく解くためにどうしたらいいのか、その道しるべとなるような教科書がいいので

はないかと思っております。その点、長年使っている東京書籍という教科書は、子どもも教員もなれていて、授業の流れに沿って問題を解く力がつくのかなと、こう思っております。ほかの会社との大きな違いはないと思うのですけれども、私を感じたところは、とにかく学校の報告書のとおりかなというふうに感じております。

他にいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 自分で問題解決をする際の吹き出しのヒントやノートの使い方なども記載してありましたので、算数の苦手なお子さんでも、今使っている教科書は学習しやすいのではないかなと感じました。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 前回の採択時も話題になったかもしれませんが、東京書籍の全学年の既習内容のポイントが示されているところは、児童の理解状況に応じて振り返りやすいようにしてあり、既習内容を大切にする算数の学習で有効であると感じました。

以上です。

住田委員長 荒木委員。

荒木委員 教科書が上下に分かれているかどうか、5年生も上下巻あり分かれています。あくまでも内容重視と考えますが、今重い教科書が増えている中、保護者の間でもランドセルの重さは話題に上ることですので、選ぶ際の材料の一つになると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 ここでは現行の教科書ということが中心の協議ということになるのですが、現行の教科書というためには、やはりどうしてもほかの教科書との比較が必要なので、よろしいですか。

住田委員長 はい、どうぞ。

吉田教育長 思考力、判断力、表現力、これをどう育成するかということは、学習課程に大きくかわってくるので、その中で、やはり知識、技能を活用する学習を行う必要が、思考力、判断力、表現力を育成するためには必要であるというようなことが言われるわけですが、この点、各社とも工夫はされているわけですが、例えば、大日本の教科書の5年生、6年生、他の学年のもので見ても、同じところに書いてあるのだと思うのですが、4ページに「算数の学び方」というのがあって、「学習の進め方」、「問題をつかもう」、「自分で考えを発表しよう」と。ノートの例も載っています。「話し合おう」、「振り返ろう」というようなこの流れが載っています。

それから、学校図書のほうでは、これも4ページぐらいですか、ここでも「さあ算数を始めよ

う」というので、準備から始まって、「今日の学習」、「確かめ」、それから「力をつける問題」というようなことで進めております。

それから、啓林のほうでは、これも6ページぐらいにも書いてあります、「学習の進め方」というので、どんな問題かなと、「自分で考えよう」、「みんなで話し合おう」、「確かめよう」、「振り返ろう」という流れになっております。

それから、教育出版のほうでは、4ページになりますけれども、「問題をつかむ」、「自分で考える」、「みんなで話し合う」というような流れで進めるようになっております。

日文のほうですけれども、2ページ目ぐらいのところに、「これまで学習したこと」で、「次の学習のために」、4ページ目に行くと「いろんな大きさにしてみる」というので、生活の中で見られるものが取り上げられておりますが、これについては、16ページにも「高さをはかるために」ということで、スカイツリーを実際にはかるのに、上から下まではかる必要はなくて、形ではかれるのだよみたいなところを出してきております。

東京書籍なのですけれども、これは2ページ目から5ページぐらいまでに書いてあるのですが、「学習の入り口」から始まって、「学習のめあて」、それから「振り返りのコーナー」、それから「まとめのページ」、「考えを説明しよう」、「ノートに書こう」というような流れになっているのですが、この東書の「学習の入り口」、これは2ページに書いてありますけれども、身近な生活の中にある算数やこれまで学習してきたことを取り上げて、活用を意識した流れが丁寧に設定されており、意欲を次につなげながら算数的な活動を充実させ、思考力を身につけさせようとする、こういう工夫になっています。先ほど説明の中にも7つのポイントを意識した流れになっているのでというような話ありましたが、生活の中でというようなところについて、どんなところが挙げられるのかというと、例えば先ほどの6年生の本では、36ページに「当てはまる数は」というようなところで、「1枚140円でクッキー10枚を80円の箱に詰めたときの代金の合計」というような生活の流れの中で問題提起をして、そして単元に入るといような入り口になっているということです。このあたりがわかりやすい、あるいは指導しやすい、あるいは児童の思考に沿った流れになっている、自力解決を促しやすいなどといった実績報告につながっているのかなというふうに思っております。

また、本市では、ノート指導にも力を入れているところなのですが、これについては32ページ、マイノートをつくらうというのがあって、ノートを実際にこんなふうなノートの紹介が例として載せてあるのですが、私が注目したのは、そこに自分の考えや友達の考えを聞いて感想を書き込んだノートの例が紹介されているのです。この辺は、本市が進めているノート指導のあり方と合致する点が見られるかなというふうに思っております。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、東京書籍以外の教科書について協議してまいりたいと思いますけれども、ご意見等お聞かせ願えますか。

私が感じたことは、算数というのは導入が大事だなというふうに私は思っております。それで、各社とも導入に関しては、かなり力入れているなという感じがしておりました。算数的な活動を充実させて、興味関心を持って学習に入るように工夫がされているなというふうに各社とも感じております。また、その既習事項が、これも各社とも目次において既習事項との関連を示してあります。その中で、東京書籍は、この学習がどのように発展するのかということを示していると、これが東京書籍のほうでは特色と言えるのではないかなというふうに思っています。

他の方はいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 先ほど来話題になっているように、導入の部分に関しましては、どこの会社も工夫がされていることだと思いますけれども、啓林館の導入の仕方に関しましては、具体的な活動のヒントを含んでおり、この辺が特色と言えれば特色かなと思いました。

住田委員長 他の方はいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、他に協議したい内容はございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 ないようですので、これより算数の教科用図書に係る採択に入りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 投票箱を改めたいと思います。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票をいたしますので、点呼をお願いします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。

投票漏れはございませんですね。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として

荒木委員、それから堀川委員を指名しますので、よろしくお願いします。

〔投票人立ち会いの上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2 番	東京書籍	2 4 点
4 番	大日本図書	1 5 点
1 1 番	学校図書	1 9 点
1 7 番	教育出版	1 9 点
6 1 番	啓林館	2 0 点
1 1 6 番	日本文教出版	1 5 点、

以上でございます。それで、東京書籍を採択したいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

それでは、これで一旦休憩といたしまして、次の種目の審議につきましては、午後 1 時から再開したいと思います。

◎休憩の宣告

住田委員長 それでは、休憩いたします。

休憩 午前 1 1 時 3 7 分

再開 午後 1 時 0 0 分

◎開議の宣告

住田委員長 時間になりましたので、会議を再開いたします。

音楽の教科用図書について審議いたします。

それでは、選定資料の説明等のために選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、音楽の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

日暮選定委員（越ヶ谷小教頭） 音楽においては、2 社より教科書が発行されておりますので、調査の観点に沿ってその工夫やよさについて報告させていただきます。

学習指導要領の教科の目標とのかかわりにつきましては、両者ともにとても工夫されております。

教育出版におきましては、明確な学習内容で見通しを持って学習できるように、こういった教科書の紙面上に「学習のねらい」、そしてまたそれに準ずる「活動のポイント」、そういったものが示されてございます。児童がみずから学習内容を捉えながら活動できるように工夫されております。共通事項を手がかりにして楽曲の特徴やそのよさを感じ取ったり、知的に理解しやすいような教材選択、扱いが配慮されていると思います。リコーダーの指使い、運指と言いますが、そういったものをしっかりと明確に示したり、また音符、休符、そういったものなども新出事項の紙面分けにこのように示したりして、そして明確な学習内容で見通しを持って学習できるように編集されております。そのほかにも繰り返し学習、資料の活用、マークの工夫、学習の手助けとなる資料を巻末に位置づけるなどの工夫が見られて、現在の教育課題に対応した紙面構成がなされております。

もう一方の教育芸術社におきましては、学びが学年の中でつながり、さらに学年を超えてつながることで学びが一段と深まる編集となっております。例えば旋律の特徴、このようにして最初にリコーダーの学習から、そしてリコーダーの学習を生かしながら、今度は自分たちで歌ってみましょう、「リコーダーと一緒に歌う」、そしてさらには教書教材である「とんび」、これでイメージを膨らませ、大空高く大きな輪を描くようにして歌ってみましょう、気持ちを膨らめてみましょう、そしてそのような学習をもとにして今度は弾いてみましょう、そのようにして学習が1つの流れとなって取り組めるような工夫がされております。題材内で歌唱、器楽、鑑賞と関連させながら、無理なく確実に授業で取り上げられるように、児童の主体性や想像性を育む音楽活動を進められるように編集がなされているのが特徴でございます。

また、我が国の音楽、例えばこの「春の海」、こういったものであったり、音楽の文化を重んじ、音楽を通して我が国のよさを感じ取らせたり、日本語の美しさを感じ取らせたり、子守唄、「ねんねんころりよおころりよ」、こういう私たち日本人のふだん使っているこういった日本語の美しさを実感させたりして、豊かな心を育てていこうとするコンセプトが随所に見られたり、また道徳心を培うような、そういったものも取り上げられています。こういったものの言葉、歌詞の中には、「どんなときも仲よくなれる、そんな自分になれたらいいな」、また、「もしも誰かが一人でいたら話してみようよ、心を寄せて」、このような道徳心を養うような、培うような歌詞が教材に盛り込まれ、それがメロディーに乗って演奏されるように工夫されています。また、他国の文化を尊重するような態度を養えるように、世界地図の中にこういったさまざまな音楽を散りばめられたり、そういったものを入れることによってグローバルな視点で音楽を捉えることができるような教材の充実がなされていることも注視できるものと考えます。

内容につきましては、両者に大きな特色が見られます。教育出版社は、基礎・基本の定着を図る主要部分と弾力的な運用が可能となるオプション部分によって構成されております。例えば、曲の感じに合わせて体を動かしてみましょう、こういうものから、実際には声や身ぶりで表して

みましょう、自分で感じ取ったものを今度は遊んでみましょう、そして実際に自分たちがふだんやっている隠れんぼうで、それに合わせて歌ってみましょう、自分たちの身近なところからさまざまな音楽を、また歌詞をメロディーに乗せて学習に取り入れていくという、そういったものが系統的に配置されていて、就学前の学習から学年内、複数学年、中学校へと継続的、発展的に学習できるように工夫されていると思います。また、児童の実態や地域、学校の状況に応じて選んできたり、この教科書の中では今まで学習したことがさらに発展できるように、こういったクリスマスの歌をさらに広げてみたり、そして歌が好きな子どもたちが多い学校であれば、このような歌も歌えるのではないか、その学年に沿ったさまざまな歌を散りばめられて、そして演奏されているのが特色と言えると思います。特に児童の視線を意識した構成は注視できるものと考えます。

また、教育芸術社は、前の学年の学びが次の学年の学びにつながるという段階的、系統的な学びが発展できる題材が9年間のつながりとして構成されていることが特徴と言えます。1つの題材がこの9年間の流れとなって、1つの流れとなって構成されているから、1つの流れとなって学習ができる、学習として自然と身についてくる、そういった編集がなされています。共通教材といったものにつきましては、具体的にどのような学習に活用するのかがわかるように、各教材については、全てにおいて題材の狙い、そして学習目標、学習活動、この辺です。といったところが明示されて、教材同士の学びのつながりを意図し、確実な学びとなるように工夫された編集となっております。

資料につきましては、両者ともに児童の目を引きつけるイラストや写真が割りつけられています。教育出版社は、児童のイメージを膨らませる写真やイラストを豊富に掲載して、こういった透明シート、塞ぐことによって夜になったり昼間になったり、こういった透明シートや見開きの折り込みページ、このような見開きによって一つのものが目に飛び込んでくるような、そういった工夫がされていたりと、児童が想像力豊かに学習できるように工夫されています。また、より広い視野を持って学習に取り組めるように、巻頭で国内外で活躍する音楽家からのメッセージが掲載されています。4年生以降の学年については、学習指導要領に示されていない内容に関しては「発展」と明示して、例えば教科書のこういったところに、「発展」といったところで見やすいところに示して、そして児童の習熟度や興味関心、意欲に応じて学習できるように配慮されています。

一方、教育芸術社は、イラストを豊富に用いて、視覚からも楽しくわかりやすくスムーズに学習に取り組める工夫が見られます。巻末も鑑賞資料や代表的な作曲家の紹介、そして歌い継ごう日本の歌、このページでは、お正月だったりうれしいひな祭りだったり七夕様であったり、こういったものがより広い視野を持って学習に取り組めような工夫であり、児童の想像力をより膨らませるとともに、指導者の支えになるものと考えます。

表記・表現については、両者とも同じＡＢ判でありながらも、カラーインクの使い方や使用している紙の質などが異なり、見た目的な違いが若干見られるように感じます。教育出版社は、ＡＢ判のよさを生かして楽譜を大きく見やすく配置しておりますし、写真やイラストなどもワイドで効果的に配置していると思います。例えば、ここの「日本の歌」の部分では、３ページにわたり大きな写真でインパクトを与えて、そして子どもたちのイメージが膨らむような工夫がされているのも特徴と言えます。新出事項の色分けや漢字や片仮名のルビ、語尾の統一は見やすく学びやすい工夫と言えます。児童のイメージをかき立てる写真や豊富なイラスト掲載、透明シート、両開きの折り込みページなど、御社の工夫と言えます。さらに、共通事項の内容が題材ごとに色分けされて、学びのポイントが児童にもわかりやすくなっていると思います。色覚の個人差を問わず、より多くの人に見やすいカラーユニバーサルデザインを取り入れた紙面構成になっていると感じました。

教育芸術社は、語尾の統一、漢字や片仮名のルビ、発達段階に応じた記号や用語の別枠配置など、児童の目線に立った表記・表現となっております。また、学習内容として重要な部分が目に飛び込んでくるようなデザイン、色や形状、濃度も工夫されて、支援を要する児童から一般の児童に至るまで、よりわかりやすい紙面構成づくりになっていると思います。御社のユニバーサルデザインは、視覚ばかりでなく、使われている楽曲の音域で身体的配慮を工夫したり、言葉の自然な抑揚やアクセントを生かした歌いやすさ、歌詞のわかりやすさへの配慮も見られると思います。

総括としますと、次のようなことが言えると考えます。教育出版社は、習得、活用の観点から、全学年の使用部分を基礎・基本の定着を図る主要部分と、弾力的な運用が可能となるオプション部分によって構成されており、各題材の学習を通して基礎的、基本的内容が身につけられ、言語活動の充実も図れるように工夫されていると考えます。

また、郷土の音楽や諸外国に伝わる音楽については、伝統文化を尊重し、我が国の伝統音楽や郷土の音楽、我が国の楽器、共通教材を中心とした唱歌等の扱いにも工夫が見られ、現代の教育課題に対応した紙面構成が見られます。さらに、音楽を心情的に捉えながら、友達と心を合わせたりして表現したりして心を通わせながら学習活動やアンサンブル活動を進められるような学習内容が設定されていると思いました。

教育芸術社につきましては、学力を身につけて定着させるために、系統的な題材と題材に即した教材が意図的に配置され、学びが学年の中でつながり、さらに学年を超えてつながることで学びが一段と深まる編集構成されていると感じました。また、自発的な言語活動が促されるよう工夫も見られました。さらに、我が国の音楽や文化を重んじて、音楽を通して我が国のよさを感じ取らせたり、日本語の美しさを実感させたりして豊かな心を育てようとする題材が設定されていました。グローバルな視点で音楽を捉えることができるよう、諸外国、音楽も取り上げられていま

した。他者と協力して1つの音楽をつくり上げていこうとする協働の学習ができるような配慮も感じ取れました。

以上2社につきまして報告させていただきました。以上です。

住田委員長 ただいまのご報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、選定委員として、2社なのですけれども、どの教科書を推薦するかということなのですけれども、いかがでしょうか。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えいたします。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、17番、教育出版、56点、27番、教育芸術社、75点でした。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の教育芸術社、56点の教育出版を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 それでは、各委員の方でいかがでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、教育芸術社を採択してから4年間使用しておりますけれども、選定委員会では各学校からの実績などの話題でどのようなことが上がっておりますでしょうか。

住田委員長 はい、どうぞ。

日暮選定委員（越ヶ谷小教頭） 各学校からの報告によりますと、市内30校中29校の小学校が、現在使用している教育芸術社が適正であると答えております。理由といたしましても、系統性がかみやすい教材が選定されている、童謡等のよく知っている歌が掲載されていて親しみやすい構成であるなどの学校からの意見がございました。系統性につきましては、2社ともに考えていると思いますが、教育芸術社は、ふだん歌っている曲も多く、親しみやすいと思います。

以上でございます。

住田委員長 他には何かありますでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 適正ではないと答えた学校が1つあったようですけれども、現場の先生方が現在使用していて使いづらいなどの意見はありましたか。

住田委員長 はい。

日暮選定委員（越ヶ谷小教頭） 30校中1校は適正でないと回答しておりまして、理由とすると、

楽曲に合った写真、歌づくりやアンサンブル、鑑賞に関するコラム等の掲載が乏しいとの回答が
ありましたが、適正と回答した学校の回答には、イラストや写真が多く見やすく使いやすい、資
料がわかりやすくまとめてあり、指導するに当たって要点をまとめやすいなどの意見もありまし
た。資料などにつきまして乏しいと感じる先生もいらっしゃるようですが、大半は資料が多い、
わかりやすいという声が多いようなので、問題はないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員で保護者の方が入っておりましたが、どのような意見がありましたでしょうか。

住田委員長 はい、どうぞ。

日暮選定委員（越ヶ谷小教頭） 歌える曲は教育芸術社が多いと思います。それは、毎年聞いている
からでもある、聞いたことのない音楽を聞くのも悪くはないという意見がございました。

住田委員長 他にはどなたか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、いなければ質疑のほうを終わらせていただきます。

それでは、これから協議を行います。

まず、4年間の使用実績なのですが、今回の協議の中心は、教育芸術社を4年間使用し
てきてどうであったかということなのですが、学校からの報告書を見ますと30校中29校が
適正である、1校が適正でないというふうに回答しております。教育委員の皆様のご意見を願
いいたします。いかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 色使い、絵や文字の配置など、ユニバーサルデザインに配慮した使いやすい教科書であ
るとの声も多く、また選曲についての評判もよく、子どもたちや先生方に親しまれている教科書
だと感じました。いい歌が歌い継がれるというのは、やはり魅力的だと思います。音楽は時を超
え、国を超え、人間の共通言語ですので、音楽を通して子どもたちの心が学年を超えてつなが
ることは、音楽を学習するすばらしさの一つだと思います。また、演奏や歌唱のポイントなどもわ
かりやすく示されており、音楽の基礎的内容を学ぶ上でも表現力を養うという観点からしても有
効なのではないかと感じました。

改めて教科書を見ますと、見開きで楽譜が見やすくなっており、文字や楽譜の大きさもほどよ
く、楽譜の余白に書き込めるようになっていることも使いやすいと思います。

住田委員長 他の方はいかがでしょうか。

教育長。

吉田教育長 教芸の5、6年の4ページ目次になるのですが、これを見てもらうとわかると

思うのですが、1の「豊かな声を響かせよう」から7の「心を込めて表現しよう」まで、5、6年生とも同じくくりの題材で教材をページで扱っており、こうしたことによって、これ1年生から大体言葉は違うけれども、同じようなことなのですか。

日暮選定委員（越ヶ谷小教頭） そうです。

吉田教育長 繰り返し同じ題材を扱えるためにその内容の補充、深化が図りやすいというふうに見えるかと思います。同じ20ページをあけてみると、「リズムをつくってみよう」というふうなことになっているのですが、これも同じように扱われていて、同じ題材の中でその共通事項、同じような共通事項を扱うため、理解を深めやすくなっているというふうに見えるかと思います。こうしたことが音楽づくりが系統化されていてわかりやすいとか、あるいは学年を超えた見通しがしやすいというような声につながっているというふうに見えるかと思います。

住田委員長 私は、この教育芸術社の教科書を古い文部省唱歌が多く取り上げられて、そうかといって古い歌ばかりでなくて、比較的新しい歌も随分入って、そのバランスがいいかなというふうに感じました。そして、3年から6年にわたって教育芸術社の巻末の左側のページに、こういった音楽にかかわった著名人のことが非常によく山田耕筰、あるいは北原白秋、そしてそちらに瀧廉太郎とか、このことが非常によく書かれているなというふうに、私は非常にこちらの教科書よかったなというふうに感じていました。

他にはどなたか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、2社ですので、もう一方の教育芸術社について協議してまいりたいと思います。

どなたかご意見ございますでしょうか。教育出版ですね。

はい。

堀川委員長職務代理者 教育出版のほうですけれども、基礎的な能力を養うため、リコーダーの運指や音符、休符、記号などの新出事項が紙面脇にわかりやすく明示されて、子どもたちもわかりやすいのかなというふうに感じました。

住田委員長 他には。

荒木委員。

荒木委員 先ほどの選定委員の説明にもありましたように、内容が複数学年にわたり継続的、発展的に学習できるよう配慮されています。就学前の経験や中学校の学習も意識できるような配慮がされていると思います。

住田委員長 2社しかないのですけれども、どちらかという教育出版のほうは譜面が大きいのかなというような私の直感ですが、共通事項の内容が色分けされているとか、そういう点ではわかりやすいのかなというふうに思っています。

また、ユニバーサルデザインのようなものを取り入れた紙面構成というのが一つと、よくでき

ているところだなというふうに私は感じております。

他には。

進藤委員。

進藤委員 学校から上がってきている意見でも、教育出版社に関しましては、図や写真の掲載が多いことであるとか、写真の美しさということを上げているところが多かったと思うのですが、日本風景の美しい写真は大変インパクトがあって、学習の導入にも、あるいは学習の途中で写真を見ながら話し合い活動を行うことにより表現を深める学習にも、イラストであるとか写真は応用できるように感じました。

住田委員長 他はいかがでしょうか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、他に協議がないので、採択のほうに移りたいかと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 それでは、投票箱の点検をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票をお願いしたいので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。

投票漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として堀川委員、それから進藤委員をお願いしたいと思います。よろしくをお願いいたします。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

17番 教育出版 21点

27番 教育芸術社 24点

でございます。以上のとおり27番の教育芸術社を採択したいと思います。ご異議ないでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

住田委員長 それでは、会議を続けます。

図画工作の教科用図書について審議をいたします。

選定資料の説明等のために選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 図画工作の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

伊藤選定委員（大沢北小校長） 失礼いたします。説明させていただきます。

初めに、開隆堂につきまして、学習指導要領の教科の目標とのかかわりです。その項目から説明させていただきます。

1つ目は、作品制作の過程の写真を掲載することや、「考えを広げて」などのマークで、発想方法のヒントを示すことで児童の工夫が引き出され、自立的な活動が促されるようになっています。

2つ目といたしまして、題材名や主文に活動のイメージを持ち、興味関心を喚起させる工夫がされております。「道具箱」、「パレットコーナー」などにおいて、用意、材料の技法がまとめられており、わかりやすくなっております。また、図画工作で大切にしたいことや育てたい力（思い・つく力・工夫する力・協力する力）の3つのマークを用いて示し、教師にも児童にもわかりやすいように工夫されています。

3つ目といたしまして、目次に用具や材料、内容項目、3つのマークが1ページにまとめて掲示され、1年間の見通しを持つことができるようになっております。「小さな美術館」、「みんなのギャラリー」、「ゆめをかたちに」など、年間を通して使用できる資料が掲載されています。

内容についてですが、6年間で指導要領に示された用具や教科の経験を積み、系統的に児童の力を培えるよう題材が設定されております。5、6年生上下には中学校美術で学ぶ遠近法や構図のとり方、色相環につながる考え方を楽しく学習したり、中学校技術家庭科につながる内容を扱っております。

2つ目として、「道具箱」、「パレットコーナー」などで工作や絵を描く活動に必要な基礎・基本の知識や技法がまとめられ、各題材の中にも必要な材料や用具の扱い方など、表現技法を示すことで造形的な創造活動の基礎的技能を培えるよう工夫されております。

3つ目の資料についてですが、児童の多様な活動の姿や、そのときのつぶやきや思いを紹介したり、児童の作品を多く提示したりすることで、児童の発想のヒントとなるように工夫されています。表現のために必要な技法や知識が確実に習得できるよう、それぞれの題材ページに基礎・基本的な手法が囲みで明記されております。

4つ目の表記・表現についてでございますが、1つ目は、字体がはっきりしており、文字が大きい表記になっております。教科書が大判で、写真も大きく見やすく種類も豊富です。教科書全

体の表記が学年に応じた言葉遣いになっており親しみやすいです。目次には、めあてや資料と材料が掲載されており、見やすい表記になっております。また、表紙の副題の字体が大きく、美的感覚や情操が刺激されるようになっております。写真は、光を抑えた印刷ですが、文字の色ははっきりしており、とても見やすく、色覚についての配慮がされており、特定非営利活動法人カラーユニバーサルデザイン機構の監修も得ております。安全面や後片づけなどの配慮すべき点も図や写真で示されておりました。

5番の総括ですが、「ふりかえってみよう」、「ふりかえって、はなしあおう」が全学年の各題材の際に設定され、言語活動を充実させながら児童自身が学びを確認できるよう配慮されております。

デジカメやタブレット型コンピューターのICT機器を用いた作品も掲載されております。題材で大切にしたい目標と活動の見通し及び振り返りの観点を設けることで、みずから思考、判断する状況が設定されております。児童が試行錯誤を繰り返しながら表現方法を自己選択、自己決定できるような題材が設定されております。本図書は、児童の心を開き納得のいく活動を追求、発見、表現するといった児童の自立を大切にしていると思います。

続きまして、日文でございます。1つ目の学習指導要領の教科目標とのかかわりですが、日文さんは、チーロさんというキャラクターを設定し、発想や構想を広げにくいときのヒント、工夫するときの手だて、鑑賞する視点などを投げかけ、児童が主体的に活動できるように工夫がされています。児童や教師が制作内容を理解しやすい題材名であること、「使ってみよう材料と用具」に用具・材料の技法をまとめてあり、内容が豊富で充実しております。「学習のめあて」を設定し、活動中にいつでもそこへ戻れるようになっております。また、「気を付けよう」、「用具のマーク」など、アイコンを用いて、児童でもわかるように工夫されております。

3つ目として、目次に活動の様子の写真、内容項目がアイコンで示され、1年間の見通しを持つことができるようになっております。「教科書美術館」や「造形の森」には、制作のヒントにできるような多様な形や色、写真が掲載されており、それを見ることで創造を広げられるようになっております。

2番目の内容についてでございますが、これは6年間で指導要領に示された用具や材料の経験を積み、系統的に児童の力が培えるよう題材が設定されております。5、6年生上下には、中学校美術や技術科との関連を配慮したページもあり、造形教育としてのつながりを意識しています。

2つ目として、「使ってみよう材料と用具」で、児童の発想や構想、創造的な技能を支える材料や用具の扱いがより詳しく示されております。また、各題材の中でも必要な技法や知識を写真や説明文で示すことで、児童が主体的に活動できるよう工夫されております。

3つ目の資料についてですが、児童が発想したり活動や鑑賞したりする際のきっかけになる言葉を吹き出しなどに提示することで発想力を刺激し、多様な表現ができるよう工夫されております。

す。児童の活動の様子がわかる写真をたくさん掲載しており、「使ってみよう材料と用具」を設けたりして活動の流れがわかるように示しております。また、材料の用具の扱い、制作手順についてイラストで示され、説明文もあるために、児童にとってはわかりやすい工夫がされております。

表記・表現についてですが、字体に丸みがあり読みやすい表記になっております。ページ数も多く、写真の種類も豊富です。教科書を開くと見開きで題材が構成されており、学習の準備や手順もわかりやすく示されております。学年に応じて文字の大きさや文字量が増えています。目次は全学年共通で、内容項目をシンプルなマークで表して、見やすい配慮がされております。表紙の題字の「ずがこうさく」が、低学年では平仮名で、高学年では漢字で書かれており、文字が統一されているため、図工の教科書ということがすぐわかるようになっております。文字の色はパステル調ですが、色覚に配慮した色遣いになっております。

5番目の総括ですが、「学習のめあて」に伝え合うことを示してあり、授業で言語活動の充実が図られるよう位置づけてあります。児童が作品について語るときのヒントとなるようなコメントも記されております。また、デジカメやパソコンを用いた作品やICT機能、利用方法も掲載されております。児童の活動の様子が多く掲載されており、活動の入り口から出口まで、全ての場面が等しく学びの場であることを示すレイアウトになっております。各題材を通してみずから学べるような工夫が施されております。道徳教育との関連も意識されており、特に道徳との関連がわかりやすいページにはアイコンで道徳マークを用いております。

以上、2社の説明を終わらせていただきます。

住田委員長 ただいまの報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

まず、選定委員として、2社のうちどちらの教科書を推薦するかということですが、ご回答をお願いいたします。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えいたします。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見などを参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、9番、開隆堂、74点、116番、日本文教出版、56点でした。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、74点の開隆堂、56点の日本文教出版を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 それでは、どなたか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、開隆堂を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績などの話題でどのようなことが上がっておりますでしょうか。

住田委員長 はい。

伊藤選定委員（大沢北小校長） では、答えさせていただきます。

各学校からの報告書によりますと、市内28校の小学校が、現在使用している開隆堂が適正であると答えております。理由といたしましても、参考にする作品例が多く提示され、つくり方の手順やポイント等もわかりやすく示されております。写真も多く見やすい、各ページに道具の使い方や色等のアドバイスがあり、わかりやすいのではないかと記載されてありました。それを受けて選定委員会では、作品例や写真などの教科書に載っている資料について協議いたしました。単元の導入で子どもの想像力を広げるために、開隆堂の作品例や写真等は参考になるとの意見がありました。また、想像力を広げるために開隆堂では作品例を使用し、日文ではキャラクターがヒントを出す形式で行っており、こちらも小学生の想像力を広げるために効果的だとの意見がございました。

以上でございます。

住田委員長 他にはどなたか。

進藤委員。

進藤委員 図画工作に関しましては、適正ではないと答えた学校が2校ございましたが、実際現場の先生方が現在使用していて使いづらいなどの意見がありましたでしょうか。

伊藤選定委員（大沢北小校長） 特に現在使っているので使いにくいという意見等は聞こえておりません。

住田委員長 よろしいですか。他にはどなたか。

荒木委員。

荒木委員 その他に選定委員会で話題になったことがありますでしょうか。

住田委員長 はい、どうぞ。

伊藤選定委員（大沢北小校長） 2点ございました。1つ目は、4年間使用しているということで、使用材料の準備の際に教員が行いやすいということ。2つ目につきましては、鑑賞題材についてです。開隆堂は作品についての問いかけがあり、子どもたち同士の話し合いができるようになっているということでもあります。

住田委員長 他には質問ございますでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、協議に入りたいかと思います。

4年間の使用実績なのですけれども、今回の協議の中心は、開隆堂を4年間使用してきたわけですが、学校からの報告書を見ますと、28校の小学校が適正であったと答えております。

選定委員からのご報告でもあったように、特に課題等はないようなお答えだったのですけれども、皆さんはいかがお考えでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 適正と答えた理由の中で多かったのは、児童が参考とする作品例が数多く提示されている。つくり方の手順、材料、技法の紹介やポイントなどをわかりやすく示されているというものでした。児童の作品をつくる際に、豊富な参考作品を見ながら自分のイメージを広げることができ、教える側の視点から考えても、非常に子どもを導きやすいものとなっており、子どもたちにとって適切だと考えます。巻頭にあります、先ほど数多く作品が展示されているとありましたけれども、巻頭にある「小さな美術館」では、箇所題材が豊富で大変貴重だなというふうに感じましたし、その次にある「ゆめをかたちに」というところでは、作者の思いなどもつづられておりまして、作品をつくる人の思いに触れることができるというのは、大変大切に貴重なことではないかなというふうに感じました。

私からは以上です。

住田委員長 他にはどうでしょうか。

私は、道具とか材料の使い方等が、各ページや巻末の資料で非常に丁寧に説明されていて、子どもが確実に習得できるのではないかと、こんなふうに思われました。

両者ともなのですけれども、安全に非常に気を使ってできているなど。開隆堂の1、2年生の教科書、下の45ページで、カッターを使っていると古くなってくるわけで切れも悪くなる。それを、その悪くなった部分を外して、その処理の仕方までちゃんと説明されています。そういう点で、開隆堂はこういうところまで配慮してよかったなというふうに感じております。とにかく図工というのは、教員が準備するものと子どもたちの作品をつくる手順をしっかりと把握していないとできない教材、安全のほかに教材をしっかりと見たり準備したりする時間がかかなり必要だと思います。その点でもやはり使いなれていることは、教員の負担を考えるとよかったのかなと、そんなふうに思っています。

他にはどなたか。よろしいでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、もう一方の日本文教出版のほうについてのご意見をお聞かせ願いたいのですけれども、いかがでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 発達段階に応じて「児童の活動の写真」と「鑑賞教材」の順序や分量の割合を変えています。低学年では活動を前面に出して図画工作の学習がイメージづくりや活動の意欲を高める工夫がなされている点がよいと思います。また、キャラクターを用いることで親しみやすい表現で児童の意欲を引き出そうとする傾向が見られます。

住田委員長 他にはどなたか。よろしゅうございますか。協議したい内容ございますでしょうか。
ないですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ採択のほうに移りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いもの
としたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 次に、投票箱を改めさせていただきます。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票に移らせていただきますので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたします。

投票漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として
進藤委員、それから荒木委員をお願いしたいと思います。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 それでは、集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

9番 開隆堂 24点

116番 日本文教出版 20点

ということで、以上のとおり開隆堂を採択したいと思います。ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

◎休憩の宣告

住田委員長 ここで1度休憩をとろうと思います。

休憩 午後 1時55分

再開 午後 2時15分

◎開議の宣告

住田委員長 それでは、会議を再開いたします。

家庭の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等で選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 それでは、家庭の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

村木選定委員（大袋小教頭） 家庭科について説明させていただきます。

まず、学習指導要領の教科の目標とのかかわりについてですが、東書、開隆堂ともに調査や実習を多く取り入れ、実践的、体験的な活動を通してわかりやすく学習が進められるように工夫されています。

東書では問題解決学習ができる3つのステップで展開されており、児童が学んだことを家庭生活で生かしたり、自分の生活について発表したりするなど、実生活のつながりが示されています。

「いつも確かめよう」のコーナーでは、基礎的、基本的な知識、技能のポイントがまとめられており、いつでも振り返りができるようになっています。また、「Do」という欄が多数あり、実生活への課題解決学習に役立つように示されています。

開隆堂でも問題解決学習を通して創造性や自主性、自立性を養うことができるようになっており、課題の投げかけから言葉や図表などを用いて学ぶ活動場面があり、グループやクラス全体で話し合う学習が成り立つようになっています。安全面や基礎・基本に関する事柄も細かく示されており、チャレンジコーナーでは学習したことが家庭生活に生かせるよう、また発展的な取り組みができるよう示されています。

内容についてです。小中学校の連続性や系統性については、2社ともに2年間の学習の振り返りができるようになっており、学習したことをもとに、家庭の一員から地域の一員としての意識が持てるように工夫されています。また、中学校の学習内容の一部も示されており、これからの学習への意欲づけが図れるようになっております。さらに、4つの領域については色別に示され、どちらもバランスよく配置されていますが、東書は2年間で14単元、開隆堂は2年間で17単元となっており、初めて家庭科を学ぶ5年生で基礎・基本がしっかり身につくように題材を細かく構成、配列し、スモールステップで学習が積み上げられるようになっております。特に家庭生活と家族の題材については、2年間の学習を貫く視点で学期や学年の区切りの時期に配列されています。

東書における基礎・基本の確実な定着については、包丁の使い方や分身の仕方など実物大の写真が掲載されており、実際に見比べながら作業できるようになっていること、また、「いつも確か

めよう」のページで何度でも振り返ることができるようになっていることが挙げられます。

開隆堂における基礎・基本の確実な定着については、実生活の中で注意することや工夫することが安全マークや環境マークでわかりやすく示されていること、野菜の洗い方、整頓の仕方など、作業の様子が写真でわかりやすく示されていることが挙げられます。

資料についてですが、2社とも学習内容に合わせた挿絵や写真、イラストが配置されており、作業の流れも見開きで掲載されております。東書では、写真が大きく実物大のものもあります。開隆堂では写真はやや小さ目になりますが、多くの資料が掲載されています。

表記・表現については、2社とも難しい漢字には振り仮名をつけ、難解な言葉には注釈がつけられております。文章表記も、「です」、「ます」が基本ですが、「してみよう」、「何々かな」と、児童に親しみやすい投げかけの言葉もあります。また、どちらもカラーユニバーサルデザインを取り入れております。東書では文字は大きいのですが、やや細目で、写真、イラストなども淡い色遣いになっているのが特徴です。ページ数は多いのですが、紙が薄いため軽くなっております。開隆堂は濃い色合いの文字で、写真やイラストも鮮明な色遣いになっているのが特徴です。ページ数は少ないのですが、紙がやや厚目なため、少し重くなっております。

最後に総括です。2社とも考えたり話し合ったりする場面が單元ごとに設定されており、言語活動の充実、アクティブラーニングという視点から大変有効だと考えられます。

以上で家庭科の説明を終わらせていただきます。

住田委員長 ただいまの報告について質疑を行いたいと思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、選定委員といたしまして2社のうちどちらをといいですか、どの教科書を推薦するかということをお答え願います。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答えいたします。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が2種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、57点、9番、開隆堂、75点でございます。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の開隆堂、57点の東京書籍を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 それでは、現在、開隆堂を使っているわけでありましたが、4年間使用しておりまして、選定委員会では各学校からの実績等の話題ではどのようなことが上がってまいりましたでしょうか。

村木選定委員（大袋小教頭） 各学校からの報告書によると、市内30校全ての小学校が現在使用している開隆堂が適正であると答えております。理由といたしましては、イラストや絵、写真、資料等が豊富で見やすい、実習の計画、手順等が児童にわかりやすく示されているなどがありました。見なれていることもあり、色が鮮やかで見やすい、附属のワークシートも使いやすかったという話題がありました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 適正ではないと回答した学校はなかったようですけれども、現場の先生方が現在使用していて、使いづらいなどの意見はありましたか。

村木選定委員（大袋小教頭） 附属のワークシートについて、中には難しいものもあったようですが、教員のほうで工夫して使用することによりスムーズに使用できたという意見がありました。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 それでは、質疑のほうを終わらせて、協議に入りたいと思います。

今回の協議の中心は、開隆堂を4年間使用してきてどうであったかということなのですが、学校からの報告によりますと、30校全ての小学校が適正であったと回答しております。したがって、選定委員からのご報告でもあったように、特に問題等はないのかなというふうに思いますけれども、皆さんはご意見ございましたらお願いいたします。

荒木委員。

荒木委員 適正と回答した理由として、見やすさ、わかりやすさを挙げている学校が多いようです。

調理実習の流れが見開き2ページで掲載されていたり、写真や図がわかりやすく掲載されていたりすると思います。挿絵やレイアウトに親しみやすさを挙げている学校もありました。子どもたちや指導する先生方が慣れているということもあると思いますが、学校はやはり使いやすいのではないかと思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 資料が豊富で、実習の手順がわかりやすく示してあることを指摘するご意見も多かったと思います。このことは、子どもたちが関心を高め、主体的に学習に取り組むのに効果的であると思います。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長、どうぞ。

吉田教育長 本市の調理実習中に事故が発生したというのがございましたので、その辺で少し見て

みたのですけれども、これは両方の会社の教科書にもあったのですが、開隆堂については、例えば3ページ目に安全マークがついていて、「安全に学習を進めるために」というので、こういうのが何カ所か出てきておりますし、また65ページ見ると防災のマークを付して、災害があったときにはこういうふうにしようよというような、そういうこともここで取り扱っているのです、そういう安全に対する実践的な態度、これを育成するという視点での工夫が見られているのかなというふうに考えております。

住田委員長 私は、開隆堂でよかったのは11ページ、今ちょうど夏場で食中毒の時期ですので、特にここ見たのですけれども、手の洗い方が示されていて、ちゃんと指の間とか爪の洗い方とか、そういうようなことが11ページの上のほうに図入りでちゃんと書いてあります。いいなと思ったのが、48ページです。コンブ、カツオ、煮干し、いろんなだしのとり方です。煮干しでは例えば腹を取るとか、そういうようなことも出ていますし、コンブでは取り出すタイミング、そういうようなこともきちっと説明されている。非常によかったなというふうに思っています。

他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 では、次の2社ですので、今度は東京書籍の教科書について協議してまいりたいと思うのですけれども、ご意見お聞かせ願えますでしょうか。

荒木委員。

荒木委員 東京書籍は、児童の手元の大きな写真を掲載するなどの工夫をしています。自分の手と見比べながら作業を進めることができると思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 学習課程についてですけれども、2社の間に特に大きな差はないように思いました。東京書籍では実生活とのつながりを意識して、家庭の食事について調べたり、学んだことを家庭で生かしたりするような働きかけをしております。実践的な態度を育むということにつながっているのではないかなと思いました。

以上です。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

進藤委員。

進藤委員 東京書籍が個人の考えを記入するワークシートのようなコーナーが多数あるとか、全体として記入欄が多く、言語活動の充実を図る工夫がされています。また、末尾にある「いつも確かめよう」のコーナーでは、例えば包丁の使い方であるとか針の持ち方など、右ききだけではなく左ききの写真までが同じような大きさに掲げられている、そういった中に興味を引きました。

以上です。

住田委員長 他には。

私は、東京書籍のほうは、124ページに生活上によく出てくる表示マーク、これが非常にたくさん載っているという、そういう特徴があるというふうに思っています。それから、125ページです。開いていただくとわかるのですけれども、雑巾の絞り方です。3つの絵といいますか写真が載っておりまして、雑巾は必ず内側に絞る、それが非常にわかりよくできているのではないかと、こういうふうに思っております。

他にはいかがでしょうか。よろしいですか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他に協議したいことはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ採択のほうに移らせていただきます。

選定委員の先生方、ありがとうございました。

〔選定委員退室〕

住田委員長 採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 次に、投票箱のご用意をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 では、投票に移りますので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票は終了いたしました。

投票漏れはございませんね。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として荒木委員、それから堀川委員にお願いしたいと思います。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告をいたします。

2番 東京書籍 20点

9番 開隆堂 24点

開隆堂を採択いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 異議ないものと認めまして、以上のとおり採択いたしました。

住田委員長 それでは、保健の教科用図書について審議いたします。

選定資料の説明等のために選定委員の入室をお願いいたします。

〔選定委員入室〕

住田委員長 保健の教科用図書について、選定委員より選定資料のご説明をお願いいたします。

関口選定委員（大袋北小校長） それでは、体育保健領域につきましてご説明いたします。

各教科書会社の説明の前に、体育科保健領域の授業について、他の教科と異なった点がございますので、そのことから先に説明させていただきます。

保健領域の事業につきましては、運動領域を主とする体育授業の中の一領域として位置づけられております。例えば、小学校3年生の体育授業の標準時間数は年間105時間となっておりますが、その中で保健領域は約4時間程度で扱うこととされております。また、その4時間も1週間に1時間のペースで進める形ではなく、単元によってまとめて取り扱うこととされております。つまり、3年生の場合、年間計画では時間割で体育が設定されている時間を4時間続けて授業を行う形になります。そこで、3、4年生で1冊、5、6年生で1冊、そして主要教科の教科書に比べ薄い教科書となっております。さらに、子どもたちにとって体を動かし学ぶイメージが大きい体育の授業の中で、保健領域は人気が低い実態を踏まえまして、どこの教科書もよりわかりやすく、教師がICT機器を活用したりワークシートにしたり拡大資料を作成するなど、創意工夫をしやすいづくりが意識されております。この後、各教科書会社のサイズの違いにも触れてまいります。1年間の中で使用する期間が集中していること、そして現在子どもたちが持ち運びする荷物の量の多さも課題に挙げられていることを受けて、教科書の保管を学校で行っている場合もあることを踏まえてご検討いただければ幸いです。

それでは、各社の教科書の特徴について説明いたします。それでは、教科書のほうですが、まず東書につきましては、サイズはA B判、縦がB 5判、横がA判になります。導入段階で生活を振り返り課題を意識させ意欲を高める工夫がされ、今の生活習慣やこれからすべき活動等を記入できるように工夫されております。1単位時間45分ごとに、「話し合ってみよう」、「考えてみよう」、「振り返ってみよう」、「活用して深めよう」という展開がパターン化され、習得した知識を実生活に生かせる活動内容と示されております。

学習内容の中に「つなげよう」というコーナーがあり、他学年や中学校との系統性を配慮した関連事項が表記されております。未習の漢字につきましては振り仮名が振られ、わかりにくい言葉については、解説の中で説明がされております。1単位時間が見開き2ページでまとめられ、多くのイラストや資料を効果的に使い分け、学習展開が明確に示されております。図表や写真も多く掲載され、「広げよう」、「まめ知識」など、人とかかわりや発展的な内容に触れ、興味を持たせる工夫がなされております。また、カラーユニバーサルデザインの検証とユニバーサルデザ

イン書体で編集され、落ちついた色合いになっております。このようなことから、基礎的、基本的な知識の習得と資料の活用能力、言語活動の充実から学力の定着を図り、実生活に生かせるように工夫がなされております。

次に、大日本につきましては、サイズはB 5判でございます。導入の段階で学習をナビゲートするゲームを提示し、興味関心を高める内容になっております。実生活が意識できるように学校、家庭、地域を例示する絵を多く使用し、自分の考えを記入する活動から、課題が意識できる内容となっております。「ゲーム」、「課題をつかむ」、「やってみよう」、「書いたり発表しよう」、「まとめ」、「生活に生かそう」の学習の流れと、毎時間の最後に「活用」と記された部分があり、そこで学習内容を振り返ることができるよう工夫されております。また、3年生などで「学習したね」などの項目があり、既習の内容との関連性や系統性が示されております。発展的な学習のコーナーから、中学校への学習のつながりを意識的に持たせ、これからの生活に役立つ内容になっております。全体的にイラストや絵で学習内容をわかりやすくお示ししてあります。また、4年生の児童の身長の変化や食生活を調べる学習では資料を活用し、児童の学習意欲を高める工夫がなされております。未習の漢字には同じく振り仮名が振られております。「ミニちしき」のコーナーから学習の深まりや発展学習につなげていくように工夫されております。多くのキャラクターを用いて児童に学習活動のヒントを与えています。ユニバーサルデザインに配慮した構成になっていて、見やすい配色になっています。洗練された資料や統計を用い、基礎的、基本的な知識を習得しやすい工夫がされ、「話し合ってみよう」では、自分の考えを話し合う活動に生かすことによって言語活動の充実を図る学習内容にもつながっていきます。

続いて、文教社につきましては、サイズはA判でございます。導入の段階でわかりやすい図やイラストを数多く掲載し、学習意欲を高める工夫と、今日的な課題や実生活を振り返りやすい題材を活用しています。1単位時間の学習内容を見開き2ページでまとめられ、段階を「話し合ってみよう」、「調べてみよう」、「やってみよう」など学習展開が明確に示されております。また、アスリートからのメッセージが示されており、この学習内容により興味関心を持つよう工夫されております。教科書の下段に他教科、他学年への学習内容との系統が説明されております。さらに、「発展」という形で関連した内容を示され、情報コーナーにより発展的な学習につながるよう工夫がされております。課題追求に必要な写真、イラスト、グラフなど資料を精選し、視覚効果を重視したレイアウトになっております。また、単元の初めの動機づけのページには、各学年に応じた活動や資料を提示し、児童が単元への見通しを持てるよう工夫されております。重要な語句は太字で記されております。課題が持ちやすく、優しい図表や色遣いなどで児童になじみやすく、学習のまとめとして各単元の終わりに「これからの自分へ」として、実践への意欲づけが図られております。

次に、光文につきましては、サイズでございますが、B 5判でございます。導入の段階で児童

の生活と関連づけさせ、身近な題材から学習意欲が高まるよう工夫されております。今日的な課題設定から必要性が高まるとともに、実践力へとつながるよう具体的な内容が示されております。学習内容を確実に定着させるための「つかむ」があります。さらに、学習したことをもとにして考える活用の場面が身近な問題として習得した知識を活用する学習活動、「あてはめよう」、「見つけよう」、「つたえよう」という内容に分かれております。教科書の下段に他学年との系統性が説明されております。説明を深めることのできるようマークでわかりやすく表示されております。また、「発展」というマークがあり、5、6年生の学習内容より少し進んだ内容が示され、中学校との系統性を配慮し、知識を活用することのできる構成がなされております。未習の漢字につきましては、各社と同じですが、振り仮名が振ってあり、文章量は学年に応じて適量になっております。重要な語句は太字で記載されております。視覚による理解を図るため、はっきりとしたイラスト、図表、写真等で構成され、知識の習得のしやすい資料が数多く掲載されております。今日的な課題を豊富にそろえ、学習に広がりを持たせています。また、社会的課題も紙面に入れ、生活と密接に保健学習がかかわっていることを理解でき、実生活と比較しながら学習活動を進めることができます。

最後に、学研につきましてです。サイズはA4判でございます。全てが1単位時間2ページで構成されております。導入からまとめを通して習得した知識を実践的に活用し、理解が深まる構成になっております。学習展開をパターン化することにより、見通しをもって学習活動に取り組むことができます。学習課題、学習の進め方、活動がわかりやすく示されております。学習したことを生かして取り組む活用があり、確かな学力を育成することができます。また、学習を広げたり深めたりする場面も明示されていて、わかりやすくなっております。随所に協働学習の課題がマークで示され、自分の考えを明確にさせながら友達や家族、地域とともに学習を進めることのできる内容になっております。学習の系統性や他教科とのつながりは、関連のマークが明記されております。保健学習が生活に生かせる展開となり、段階的に学習を取り組ませることができております。また、中学校への学習内容にもつながる洗練された内容になっております。未習の漢字につきましては、全社共通でございますが、振り仮名が振ってあり、言葉の説明が優しく表記され、紙面が大きく、イラストの色遣いや写真の色が鮮やかではっきりしております。「もっと知りたい、調べたい」というページが各単元にあり、写真などでわかりやすく発展的な内容が記されております。ユニバーサルフォントを使用し、ユニバーサルデザインに配慮して作成されております。また、協働学習を取り入れ、言語活動能力を高められる学習展開がされております。課題を設定し、「考え—話し合い—まとめ—実践」という学習パターンが決まっていて、取り組みやすい内容になっております。

以上でございます。

住田委員長 ただいまご報告いただいたわけですが、このご報告について質疑を行いたいと

思います。

各委員の質問に続いて、選定委員のご回答をお願いいたします。

それでは、選定委員として、5社あるわけですが、どこの会社の教科書を推薦するかということをお答え願います。

野口選定委員長（花田小校長） それでは、お答え申し上げます。

選定委員会では、協議内容、学校における教科書の調査研究報告や法定教科書展示会会場において、来場者の皆様が提出した意見なども参考にしつつ協議を行いました。協議終了後、選定委員15名全員が5種類の教科書発行者について評価をそれぞれ5段階で記載し、無記名で投票いたしました。75点が満点となります。

その結果でございますが、2番、東京書籍、51点、4番、大日本図書、32点、207番、文教社、36点、208番、光文書院、75点、224番、学研教育みらい、54点でした。本選定委員会といたしましては、点数の多かった順に、75点の光文書院、54点の学研教育みらい、51点の東京書籍を推薦いたします。

以上でございます。

住田委員長 それでは、どなたかご質問等ございますでしょうか。

堀川代理。

堀川委員長職務代理者 現在、光文書院を採択して4年間使用しておりますが、選定委員会では各学校からの実績等の話題でどのようなことが上がりましたでしょうか。

関口選定委員（大袋北小校長） それでは、回答させていただきます。

各学校からの報告書によりますと、市内29の小学校が、現在使用している光文書院が適正であると答えております。理由といたしましては、イラストや写真が多く、学習の流れがつかみやすい書き込みができるように構成されているのがよい。さらには、1ページの情報量がちょうどよいという記載がございました。それを受けて選定委員会では、保健学習では資料が大変重要ですので、記載されている情報量について2点協議いたしました。1つ目、がん教育や自然災害、薬物乱用防止など、今日的な課題については、どの教科書も扱っているということ、2つ目は、光文書院はB5判で小さいのですが、情報が足りないということもなく、子どもにとっても見やすいのではないかという意見がございました。

以上でございます。

住田委員長 他にはどなたか。

進藤委員。

進藤委員 現行の教科書が適正ではないと答えた学校が1校あったようですが、現場の先生方が実際使用していて使いづらいなどの意見はありましたか。

関口選定委員（大袋北小校長） 学校からの報告書や選定委員会での協議の中でも、特に使いづら

いなどの意見はありませんでした。適正でないと回答しました学校の理由については、エビデンス、この場合医学的根拠などの情報量が少ないとありましたが、適正と答えた学校では情報量はちょうどよいという意見が多かったですので、特に問題はないと考えます。

住田委員長 他にはどなたか。

荒木委員。

荒木委員 1号委員の保護者からはどんな意見が出ましたでしょうか。

関口選定委員（大袋北小校長） 教科書をご覧いただきまして、どこも薄いので、これでどうやって授業を組み立てるのか、先生方は逆に薄過ぎて大変であると思ったのですが、適正と答えている理由を見ると、情報量が適切で指導しやすいとありますので、こちらも特に問題はないのではないかという意見がございました。

住田委員長 他にどなたか。

少し私のほうからお聞きしたいのですけれども、先ほど採択しました家庭科は開隆堂と、それから東京書籍、6つの基礎食品のところなのですけれども、あるいは5大栄養素、これ全部「脂質」で統一されているのです、家庭科では。ところが、これどの学年でもいいのですけれども、保健体育のほうは、これは「脂肪」なのです。ですから、そういうような「脂肪」と「脂質」、これ両方とも全部文科省の検定を通っているのですけれども、その用語について話題になったというようなことはございますでしょうか。

関口選定委員（大袋北小校長） 今回の協議の中では、その点については、協議内容としては出されませんでした。

住田委員長 わかりました。

質問、他にはございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 なければ、協議のほうに移りたいかと思います。

4年間の使用実績なののですけれども、今回の協議の中心は、光文書院を4年間使用してきてどうであったかということなののですけれども、学校からの報告書を見ますと、29校の小学校が適正であったと答えております。選定委員会からのご報告でもあったように、特に課題等はないということなののですけれども、皆さんのお考えをお願いいたします。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 適正と答えた理由の中で多かったのは、イラストや写真が多く、学習の流れがつかみやすいというものでした。やはり児童がどうやって学習していくのかがわかる構成になっていることは、主体的に学ぶ上で大変重要であると思います。また、選定委員会からのご報告にもございましたが、保健は資料が大変重要でありますので、イラストや写真が豊富にあることも子どもにとって適切ではないかと思います。

また、保健学習では、習得した知識を実生活や今後の生活に生かすことが重要であると思いますので、その点での習得と活用が明確に分かれていて、先生方も指導しやすいのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはどなたか。

進藤委員。

進藤委員 光文書院では、教科書に直接書き込みができるようになっていて、教科書がそのままノートになるという点も使いやすいのではないかと思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

教育長、どうぞ。

吉田教育長 先ほどの「脂質」と「脂肪」の表現の違いについては、しかるべきところに問い合わせ、何か指導すべきところがあれば指導したいと、こういうふうに思います。

住田委員長 他には。

吉田教育長 あとは、教科の狙いから考えて、健康安全については、とにかく実践が大事だというふうに思っていますので、身近な生活の中で学習課題を見つけて解決する、そういう過程を通して健康安全の大切さに気づくこと、そういうことが大切になってくると思います。この点から見て、学研の5、6年生の36ページ、「チェックしよう」ということで、子どもの生活指導に関する内容があるのですけれども、大日本のところでは、これも同じ5、6年生ですけれども、6ページ、それから18ページ、22ページ、33ページ、37ページ、39ページ、これが大日本でも「やってみよう」ということでそういうことが挙げられているのですけれども、光文では「考えたことを書いたり自分の生活のチェックなどをしたりする活動」というところで、6ページ、10ページ、それから29ページ、30ページ、39ページ、41ページと、多くの単元でチェック項目との設定が挙げられ、これは大変有効だと考えております。同時に、大日本と光文の特徴も比較的に見えてくるかと思うのですが、ちなみに、報告書には現行の光文の教科書ですけれども、それに対しては、生活場面から課題を見つけ、実践的に内容が理解できるように工夫されているとか、あるいはイラスト、それから写真のレイアウトの説明表現が見やすく、しかも児童の実態に合っているということが挙げられていたかというふうに思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

それでは、その他の教科書のほうに移りたいと思います。

光文書院以外の教科書について、委員のご意見をお聞かせください。

堀川委員。

堀川委員長職務代理者 今日的な課題の取り扱いについてですが、防災や安全、熱中症、AED、薬物乱用など、どの会社も大変丁寧に取っているなと感じました。大日本、文教社では、絵

から危険要素とするようなシミュレーション的な学習による安全教育を設定しており、特色と言えるのではないかと思います。また、学研では人に焦点を当てながら今日的な課題、話題にアプローチしていることが特色なのではないかと思います。

以上です。

住田委員長 他にはありませんか。

荒木委員。

荒木委員 対話的な学びの観点から教科書を見ますと、東京書籍、光文書院、学研教育みらいは、考える視点や話し合う視点を明確に示していて、学習を深めやすいのではないかと思います。

住田委員長 他にはいかがでしょうか。

私は、どの教科書の会社も単元の導入部分において、身近な生活上の問題だとか、あるいは健康だとか安全だとか、そういうものとの身近な生活との関連を気づかせる、そういう工夫が見られているなと思いました。あと学研の5、6年生のテキストの41ページのところに、よかったなと思うのが、世界的に活躍した日本人、北里柴三郎であるとか鈴木梅太郎だとか志賀潔だとか山中伸弥だとか、そういう人のことが出ていて、他教科との関連もあったりしますけれども、よかったなというふうに私は見ていました。

他の方がいかがでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 何か他に協議したいことはありますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他にないようですので、保健の教科用図書に係る採択に入りたいと思います。

選定委員の先生方、どうもありがとうございます。

〔選定委員退室〕

住田委員長 それでは、採択は無記名投票により、5名の委員の5段階評価の合計が最も高いものとしたいと思います。

それでは、事務局より投票用紙の配付をお願いいたします。

〔投票用紙配付〕

住田委員長 次に、投票箱のご用意をお願いいたします。

〔投票箱点検〕

住田委員長 それでは、投票に移りますので、点呼をお願いいたします。

〔点呼に応じ順次投票〕

住田委員長 投票を終了いたしました。

投票漏れはございませんでしょうか。

〔「なし」と答える者あり〕

住田委員長 それでは、開票及び集計に入りますが、事務局の集計に当たりまして、立会人として堀川委員、それから進藤委員を指名したいと思います。

〔投票人立ち会の上開票〕

住田委員長 集計が終わりましたので、投票結果についてご報告いたします。

2 番	東京書籍	2 0 点
4 番	大日本図書	1 4 点
2 0 7 番	文教社	1 4 点
2 0 8 番	光文書院	2 4 点
2 2 4 番	学研教育みらい	1 9 点

それで光文書院を採択いたしたいと思いますが、ご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないようですので、そのように採択いたしました。

以上をもちまして予定していた全ての種目について審議が終了いたしました。

これで第33号議案「平成31年度使用小中学校教科用図書の採択について」を採決いたします。

採択する教科用図書を種目名、発行者略称の順に読み上げます。なお、発行者番号及び教科用図書名については省略いたします。

平成31年度使用小中学校教科用図書として

国語、光村。

書写、光村。

社会、東書。

地図、帝国。

算数、東書。

理科、学図。

生活、学図。

音楽、教芸。

図画工作、開隆堂。

家庭、開隆堂。

保健、光文。

それから、特別支援教育につきましては、国語、算数、音楽を採択いたします。

なお、特別支援教育の国語、算数、音楽の教科書については、いずれも文部科学省著作でございます。

それから、平成31年度使用中中学校教科用図書といたしまして、特別の教科である道徳は学研でございます。

以上の教科用図書を選択する旨、決することにご異議ございませんでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 ご異議ないものと認めまして、本案は以上のとおり決定いたしました。

他に何かございますでしょうか。

〔発言する者なし〕

住田委員長 他になければ以上といたします。

最後に、次回の教育委員会会議の日時でございますが、8月の23日木曜日、午前10時から教育委員会室で開催したいと存じますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と答える者あり〕

住田委員長 では、そのようにいたしますので、よろしくお願いいたします。

◎閉会の宣告

住田委員長 これをもちまして閉会といたします。

どうもありがとうございました。

(午後 3時13分)

この会議のてん末記載に相違ないことを証するため、署名する。

委員長

住田 俊

委員

堀川 智子

委員

進藤 秀子

委員

荒木 明子

委員

吉田 茂

(教育長)

書記

教育総務課副課長

並木 智史